

令和7年度那覇市民意識調査の報告書を作成しました

那覇市では、日常生活に関する市民意識を把握すると同時に、市政運営に対する満足度と重要度を把握・分析し、今後のまちづくりに反映させるための参考資料とするため、昭和50(1975)年年度から2年に1回、「市民意識調査」を実施しています。

このたび、令和7年度の調査結果の報告書を作成しましたのでお知らせします。

なお、報告書は市立図書館7か所で閲覧できるほか、市ホームページにてPDF形式で4月28日(火曜)16時公開予定です。

URL:<https://www.city.naha.okinawa.jp/admin/kaikaku/1004077/1011070.html>

**調査概要**

調査対象	満18歳以上の市民5,000人(住民基本台帳の年齢にもとづく等間隔抽出)
調査方法	調査票を郵送し、郵送回答またはウェブ回答により回収
調査期間	令和7年9月15日(月曜)から10月15日(水曜)まで
調査項目	61問(分岐質問9問を含む。うち新規追加項目8問)
回収件数	1,885件(回収率37.7%。うち郵送23.2%、ウェブ回答14.5%) (参考:前回(R5)回収率27.1%、うちウェブによる回答6.5%)
集計方法	単純集計および基本項目とのクロス集計

新規追加項目と追加理由

令和7年度の調査では、次の8つの質問項目を新たに追加しました。

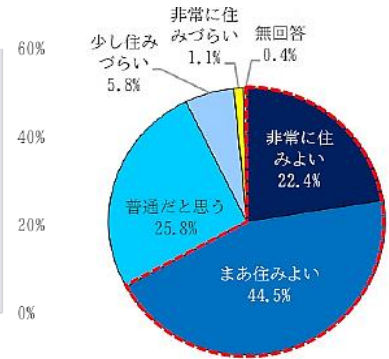
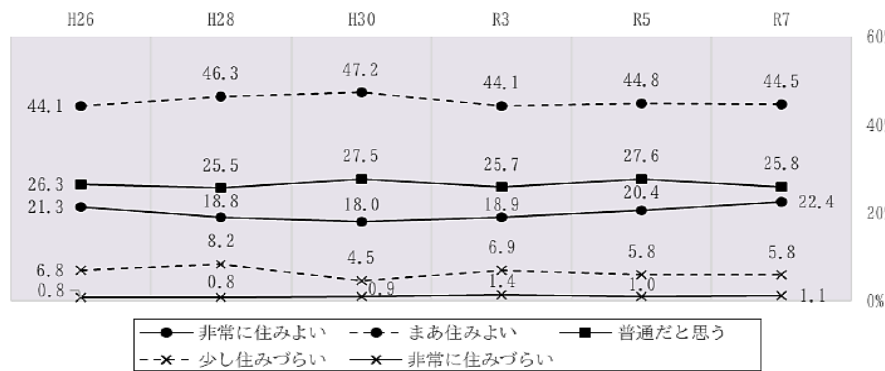
質問番号	質問本文	追加理由	報告書掲載ページ
質問5	あなたのご出身はどちらですか。 (那覇市/市外/県外/国外)	本市出身者と市外出身者で、要望や満足度が異なるのか検証するため	34ページ
質問8-2	那覇市に「自分のまち」として愛着を感じない理由を2つまでお選びください。	人口流出との関連を把握するため	42ページ
質問33	質問32の相談支援機関以外に身近で相談できる方はいますか。	包括的な支援体制の整備に向けた取組に関する評価の参考とするため	107ページ
質問34	あなたは、ご自身およびご家族の所得や家計の状況に満足していますか。		109ページ
質問35	現在のご自身の収入(所得)に対する食費にかけている割合はどのくらいですか。	物価高騰に伴う市民生活への影響や衣食住への満足度を把握するため	111ページ
質問36	現在のご家庭で食料や衣服、こどもの学用品などの最低限度の生活必需品の購入がどの程度難しいですか。		113ページ
質問37	現在のご家庭で住まいについて、課題はありますか。	居住支援に向けた課題を把握するため	115ページ
質問41	本市における文化芸術活動や伝統芸能、エンターテイメントなどをより多様で豊かなものにする取り組みとして、あなたが必要だと思う施策は次のうちどれですか。	那覇市文化芸術基本計画の中間見直しに活用するため	123ページ

調査結果の概要

住み心地について(報告書36ページ)

那覇市の住み心地については、「非常に住みよい」が22.4%、「まあ住みよい」が44.5%となり、これらを合計した「住みよい」は66.9%でした。

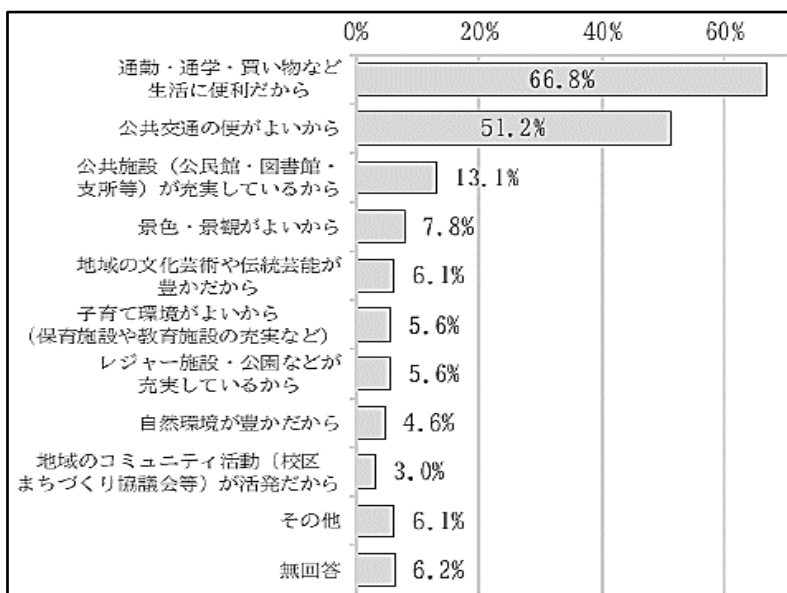
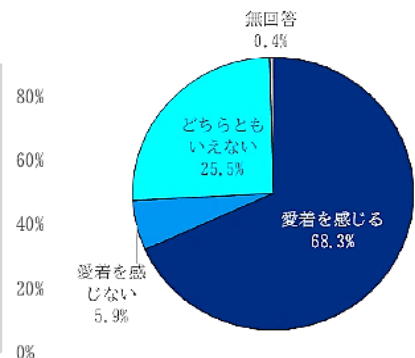
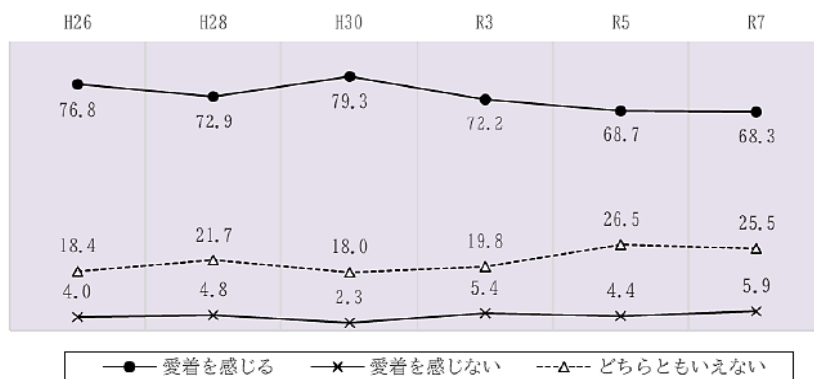
前回と比較すると、「まあ住みよい」や「少し住みづらい」がほぼ横ばいである一方で、「普通だと思ふ」が1.8ポイント減少し、「非常に住みよい」が1.7ポイント上昇に転じており、住み心地に対する評価の高まりが伺えます。



愛着について(報告書38ページ、40ページ)

那覇市について、「自分のまち」として「愛着を感じる」が68.3%となりました。

前回と比較すると、「愛着を感じない」が1.5ポイント上昇したものの、「愛着を感じる」はほぼ変わっておらず、依然として約7割の市民が「自分のまち」として愛着を感じているという結果となりました。



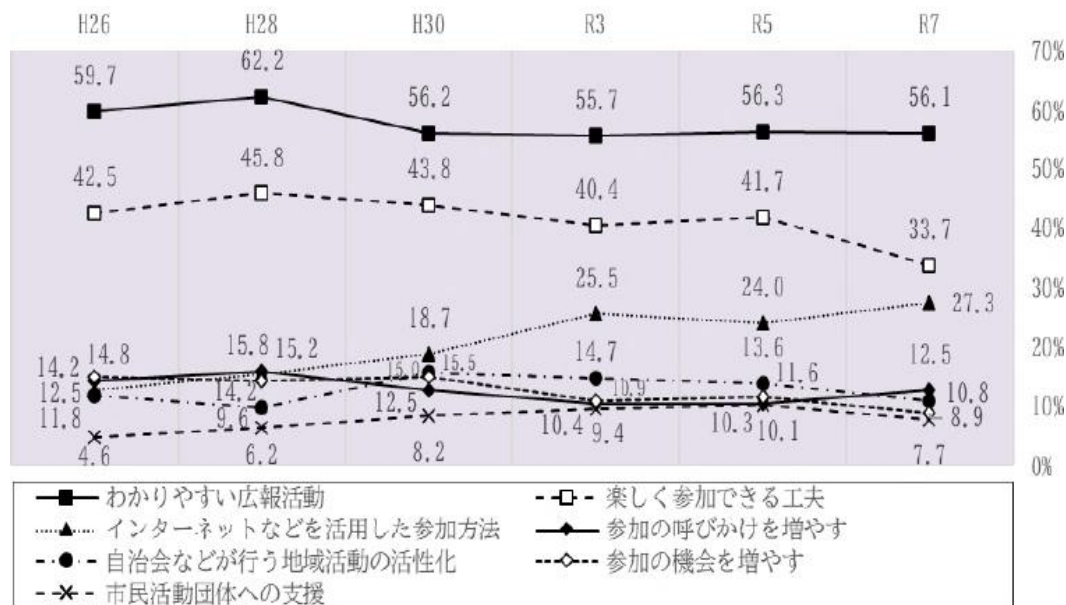
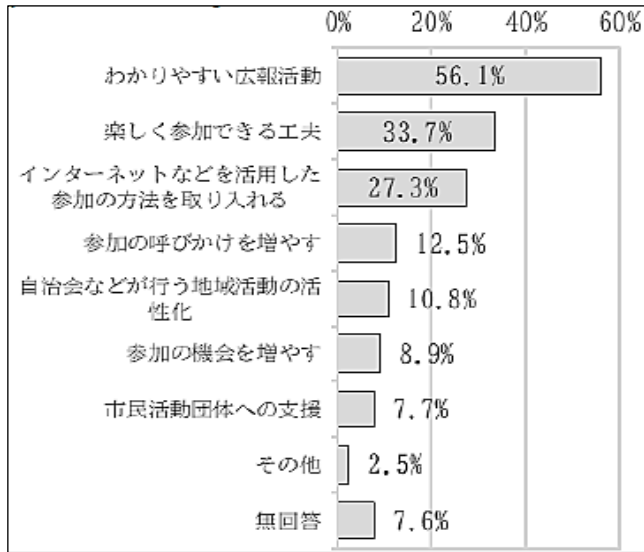
愛着を感じる理由では、「通勤・通学・買い物など生活に便利だから」が66.8%と最も高く、次いで「公共交通の便がよいから」が51.2%、「公共施設(公民館・図書館・支所等)が充実しているから」が13.1%の順となっています。

生活に関する利便性の高さが市民の愛着度につながっていることが伺えます。

市政への市民参加(報告書60ページ)

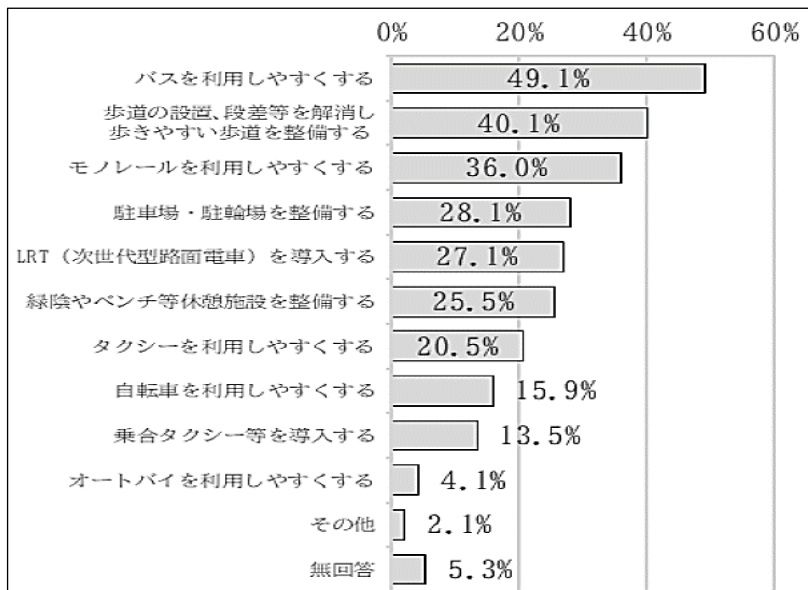
市民の市政参加を促すために、市がすべきだと思うことは、「わかりやすい広報活動」が56.1%と最多でした。

前回と比較すると、「楽しく参加できる工夫」は減少した一方で、「インターネットなどを活用した参加方法を取り入れる」が増加しており、利便性を重視する傾向が伺えます。

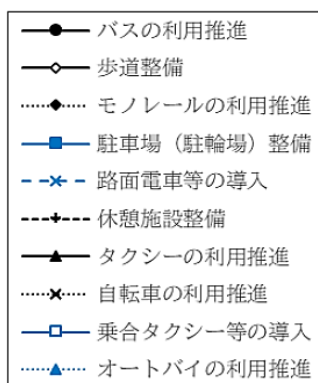
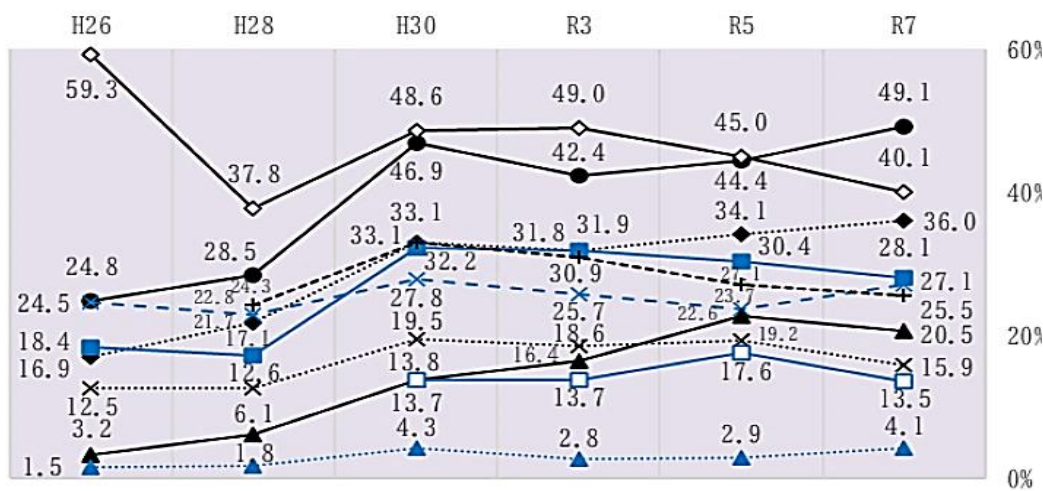


誰もが移動しやすいまち(報告書74ページ)

誰もが快適に移動できるまちづくりのために重要だと思うものは、「バスを利用しやすくする」が49.1%と最も高く、次いで「歩道の設置、段差等を解消し歩きやすい歩道を整備する」が40.1%、「モノレールを利用しやすくする」が36.0%、の順となりました。



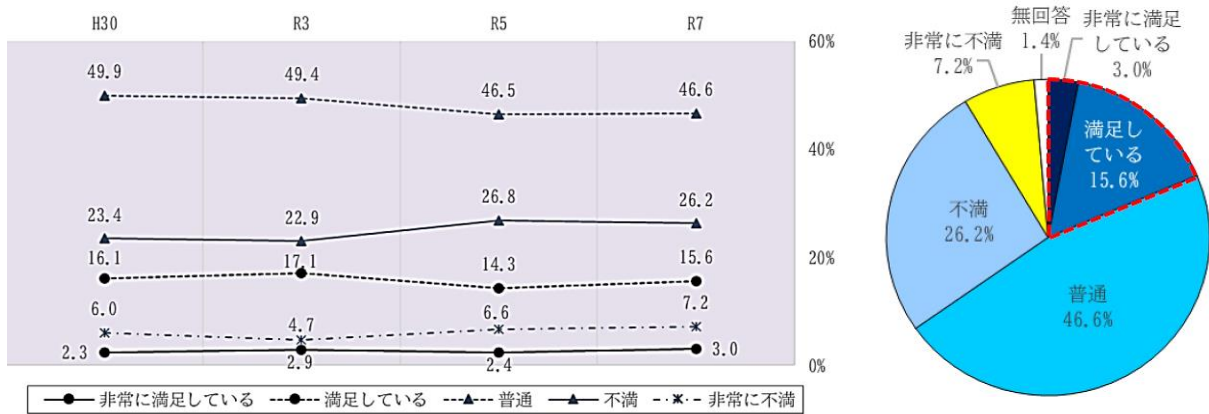
前回と比較すると、「歩道整備」や「駐車場（駐輪場）の整備」が減少した一方で、「バスの利用促進」や「モノレールの利用促進」が増加しており、公共交通への要望が高まっていることが伺えます。



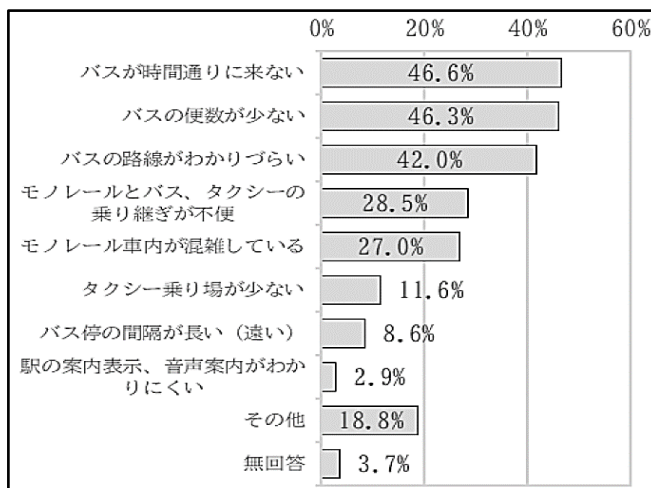
公共交通への満足度(報告書78ページ、80ページ)

バス、モノレール、タクシーの各公共交通に満足しているかについては、「普通」が46.6%と最も多く、次いで「不満」が26.2%、「満足している」が15.6%の順となっています。

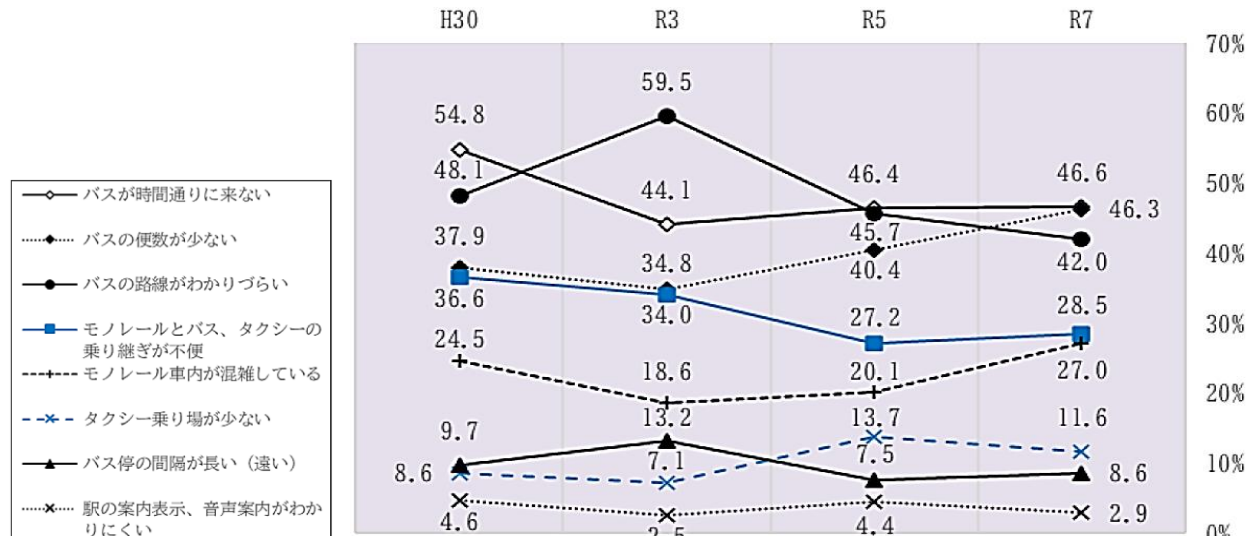
「非常に満足している」と「満足している」を合わせた割合18.6%に対し、「不満」と「非常に不満」を合わせた割合は33.4%であり、各公共交通に対して、「不満」を感じている市民の方が多いことが伺えます。



公共交通に対し「不満」に感じている理由については、「バスが時間通りに来ない」が46.4%と最も高く、次いで「バスの便数が少ない」が46.3%となっています。

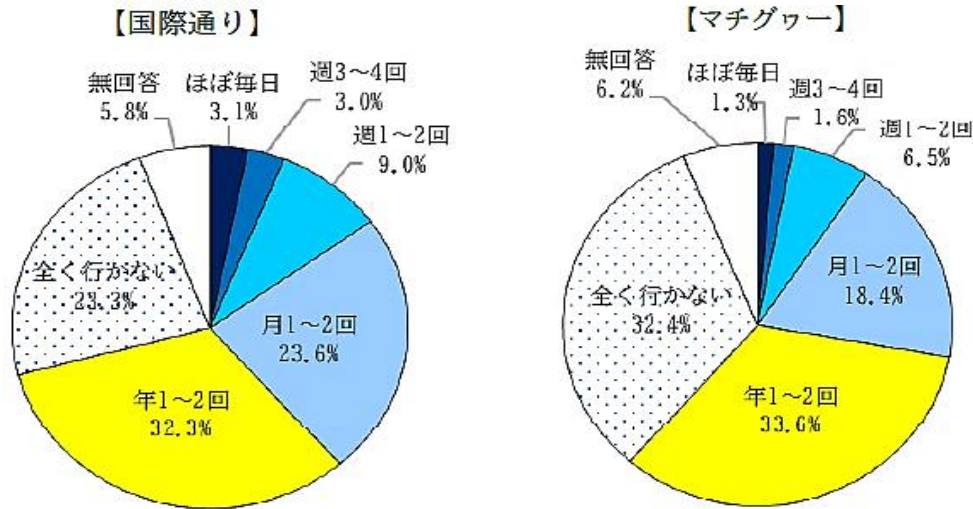


前回と比較すると、「バスの路線がわかりづらい」が3.7ポイント減少した一方で、「バスの便数が少ない」が5.9ポイント増加し、「モノレール車内が混雑している」が6.9ポイント増加しています。



中心市街地への訪問頻度(報告書84ページ)

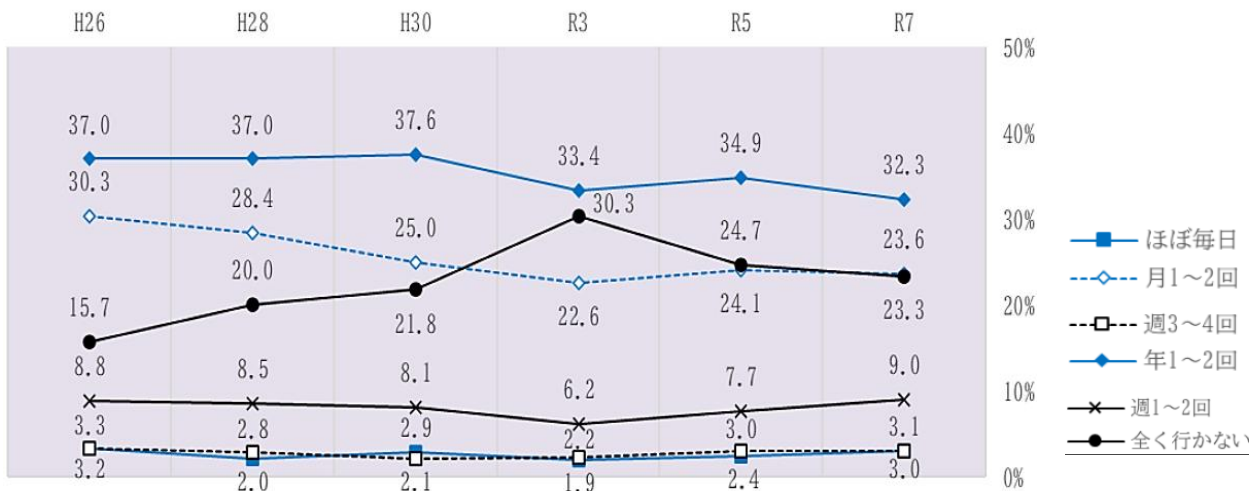
「国際通り」へ行く回数で最も多かったのは「年1～2回」、「マチグラー」へ行く回数で最も多かったのは「年1～2回」でした。



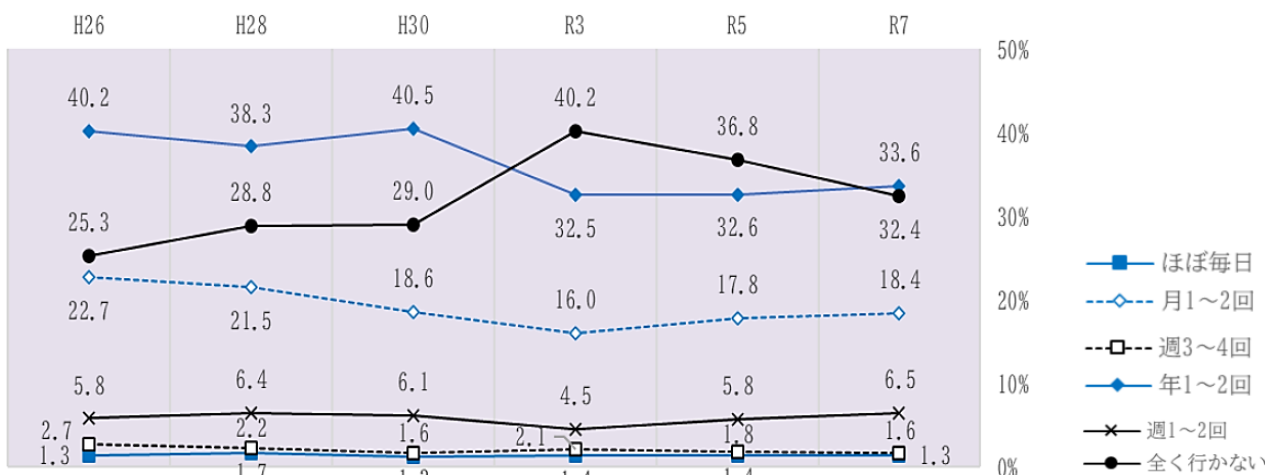
前回と比較すると、国際通りへ行く回数について「年1～2回」が減少した一方で、「週1～2回」が増加しており、「全く行かない」が1.4ポイント減少しています。

また、マチグラーへ行く回数についても、「年1～2回」がやや増加した一方で、「全く行かない」が4.4ポイント減少しており、市民が中心市街地へ訪れる回数が増えている様子が伺えます。

【国際通り】

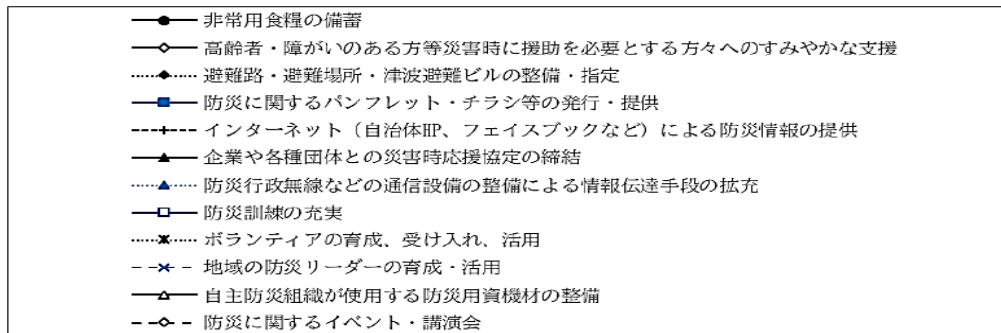
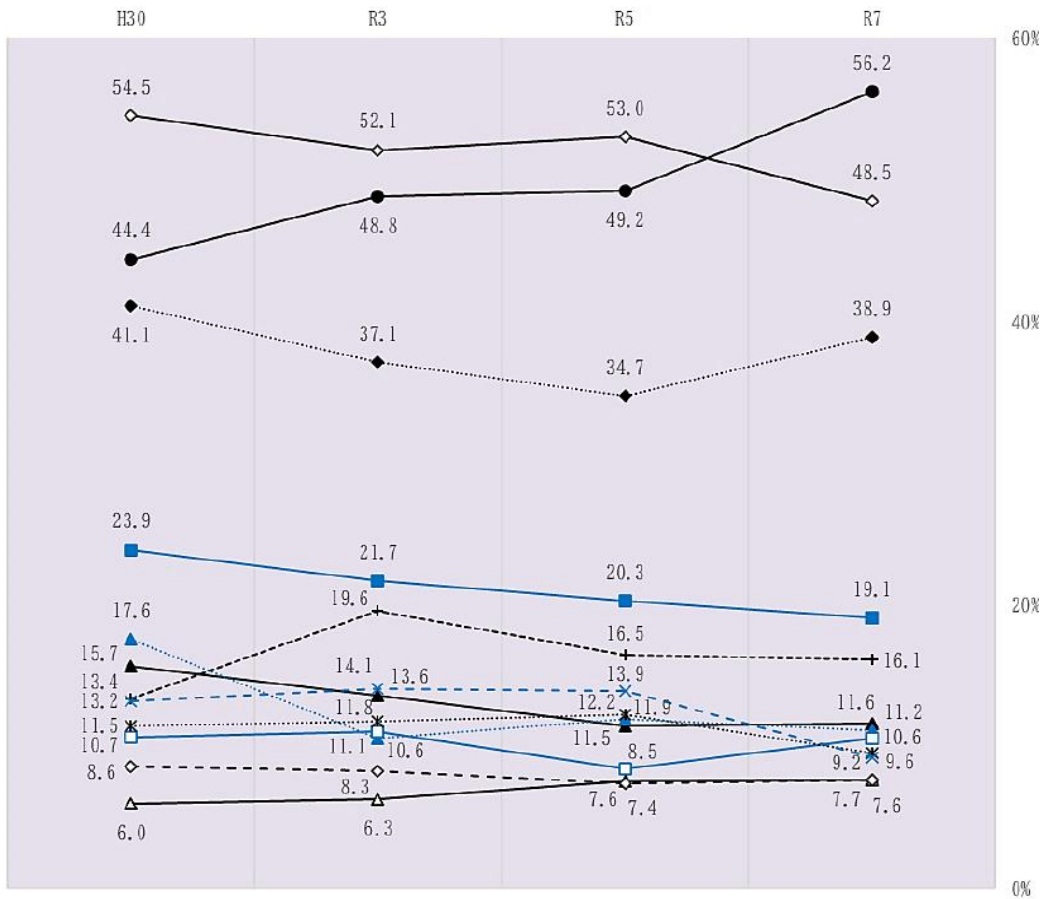
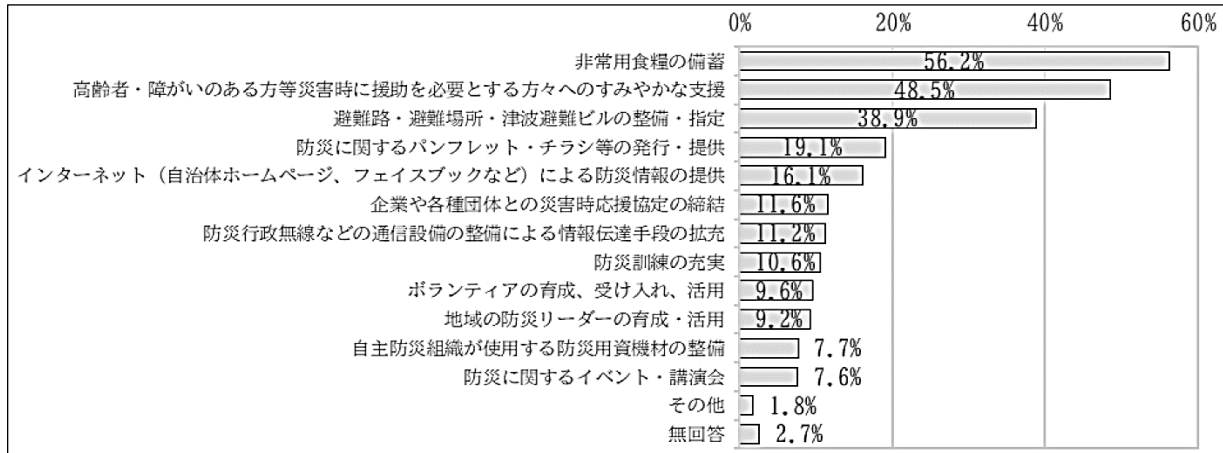


【マチグラー】



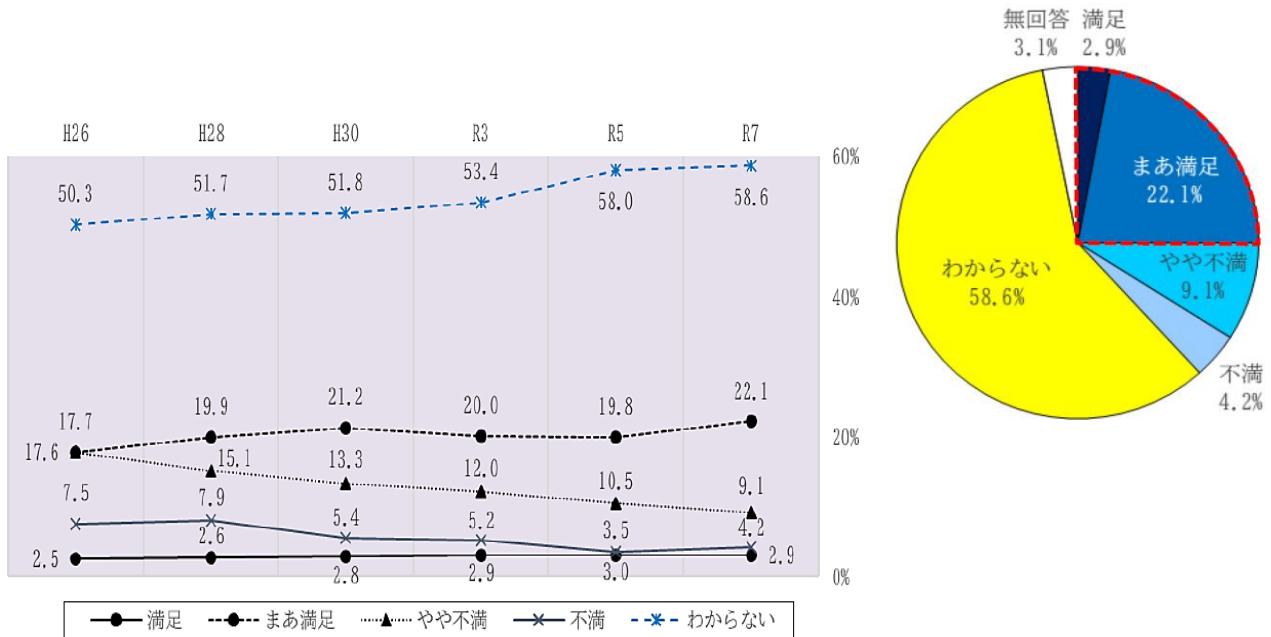
市に求める災害対策(報告書133ページ)

那覇市に特に力を入れてほしい災害対策は、「非常用食糧の備蓄」が56.2%と最多でした。次いで「高齢者・障がいのある方等災害時に援助を必要とする方々へのすみやかな支援」が48.5%、「避難路・避難場所・津波避難ビルの整備・指定」が38.9%の順となっています。



子育て支援への満足度(報告書99ページ)

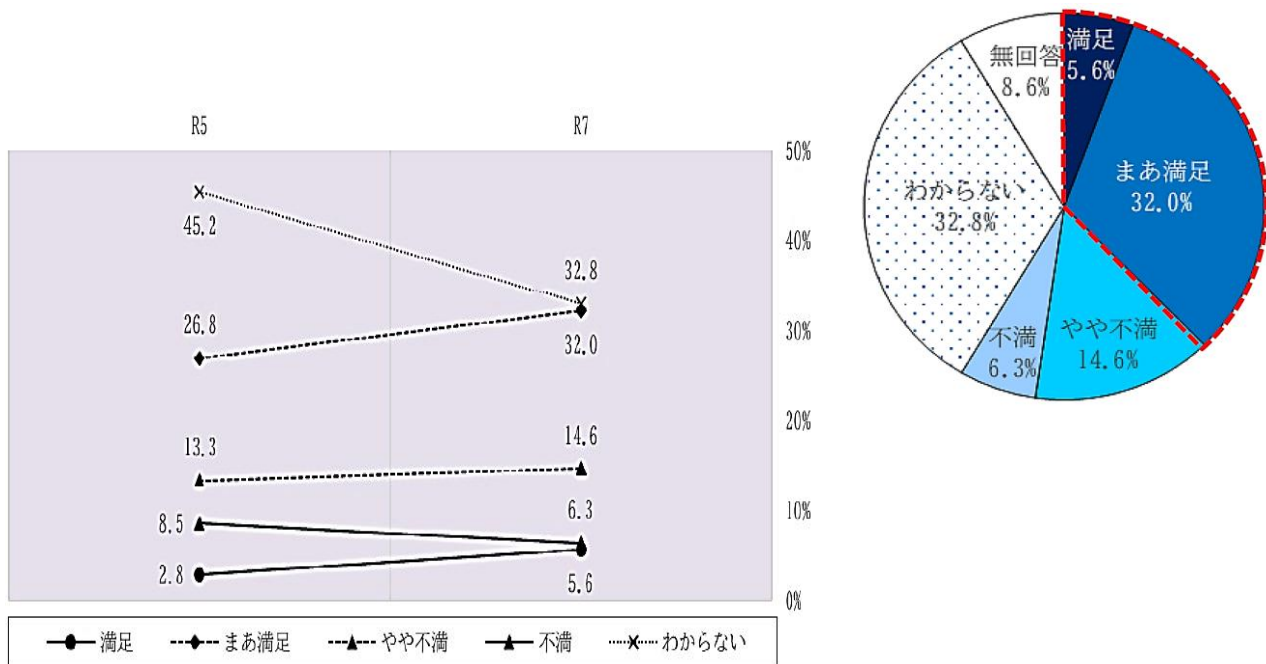
那覇市の子育て支援の取組に「満足」が25.0%、「不満」が13.3%でした。
前回と比較すると、「やや不満」が1.4ポイント減少した一方で「まあ満足」が2.3ポイント増加しており、子育て支援策への満足度が上昇していることが伺えます。



行政手続きデジタル化の満足度(報告書133ページ)

行政手続きのデジタル化に満足しているかについては、「わからない」が32.8%で最も多く、次いで「まあ満足」が32.0%、「やや不満」が14.6%の順となりました。
「満足」と「まあ満足」の合計が37.7%に対し、「不満」と「やや不満」の合計が20.9%でした。

前回と比較すると、「不満」が2.2ポイント減少した一方で、「まあ満足」が5.2ポイント増加しており、那覇市のデジタル化推進への取組について、市民から一定の評価が得られていることが伺えます。

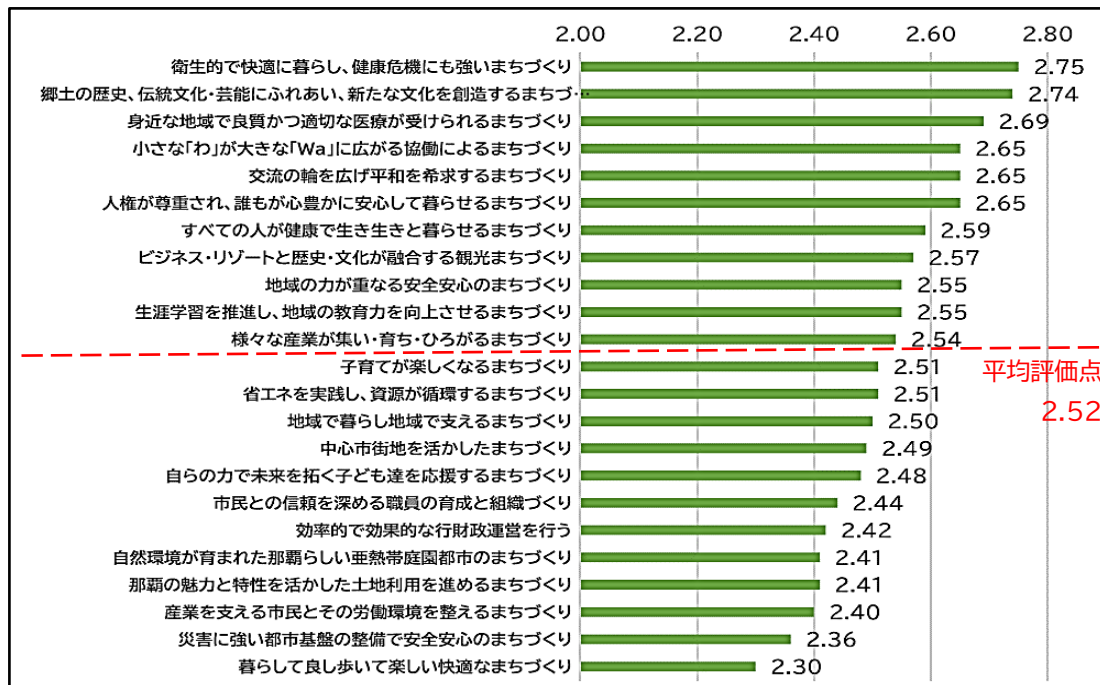


市政に対する満足度・重要度ランキング(報告書155ページ)

満足度ランキング

那覇市第5次総合計画に掲げる23の政策の満足度について、点数配点により政策ごとの平均評価点を算出し、点数が高い順に並べました。
平均評価点は2.52で、全23項目のうち11項目が平均評価点を上回る結果となりました。

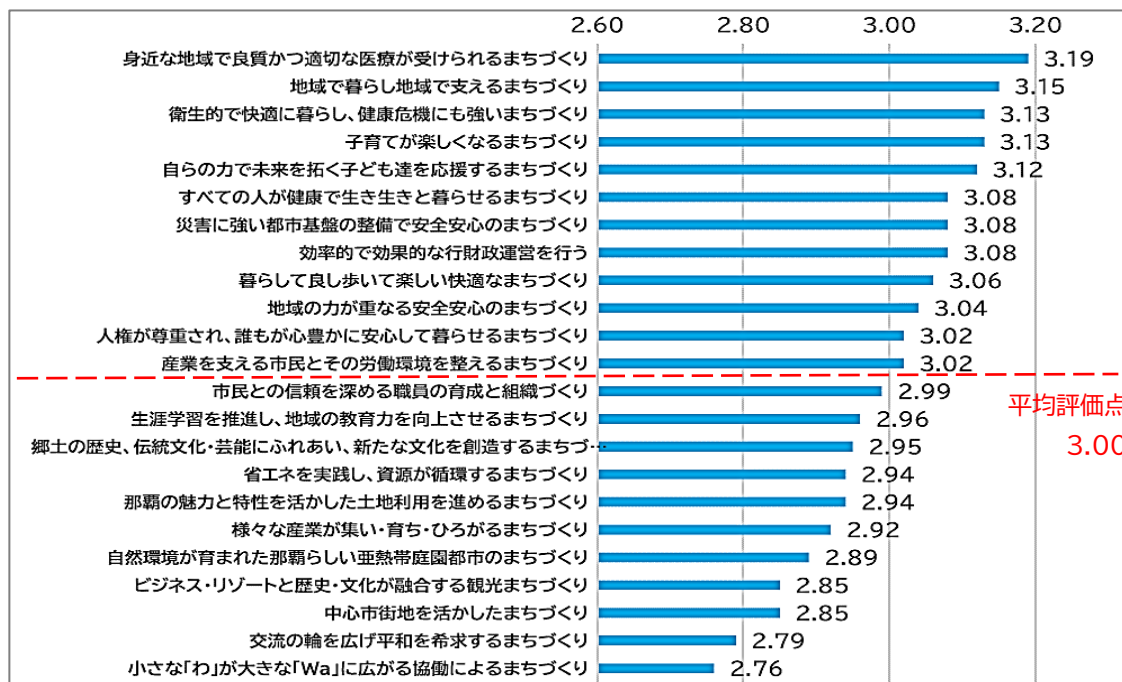
(満足:4点、まあ満足:3点、やや不満:2点、不満:1点)



重要度ランキング

那覇市第5次総合計画に掲げる23の政策の重要度について、点数配点により政策ごとの平均評価点を算出し、点数が高い順に並べました。
平均評価点は3.00で、全23項目のうち12項目が平均評価点を上回る結果となりました。

(高い:4点、まあ高い:3点、やや低い:2点、低い:1)



市政に対する満足度・重要度ランキングの経年変化(報告書156ページ)

各政策の満足度および重要度調査の平均評価点のランク付けについて、平成30年度から令和7年度までの上位10政策の経年変化をまとめました。

満足度ランキングの経年変化

前回調査と比較すると、満足度ランキングの上位3政策の順位に変化はありませんでした。

今回

	第23回(平成30年)	第24回(令和3年)	第25回(令和5年)	第26回(令和7年)
1位	衛生的で快適に暮らし、健康危機にも強いまちづくり 2.73	身近な地域で良質かつ適切な医療が受けられるまちづくり 2.63	衛生的で快適に暮らし、健康危機にも強いまちづくり 2.62	衛生的で快適に暮らし、健康危機にも強いまちづくり 2.75
2位	交流の輪を広げ平和を希求するまちづくり 2.62	小さな「わ」が大きな「Wa」に広がる協働によるまちづくり 2.58	郷土の歴史、伝統文化・芸能にふれあい、新たな文化を創造するまちづくり 2.62	郷土の歴史、伝統文化・芸能にふれあい、新たな文化を創造するまちづくり 2.74
3位	身近な地域で良質かつ適切な医療が受けられるまちづくり 2.60	郷土の歴史、伝統文化・芸能にふれあい、新たな文化を創造するまちづくり 2.58	身近な地域で良質かつ適切な医療が受けられるまちづくり 2.60	身近な地域で良質かつ適切な医療が受けられるまちづくり 2.69
4位	人権が尊重され、誰もが心豊かに安心して暮らせるまちづくり 2.56	衛生的で快適に暮らし、健康危機にも強いまちづくり 2.56	交流の輪を広げ平和を希求するまちづくり 2.58	人権が尊重され、誰もが心豊かに安心して暮らせるまちづくり 2.65
5位	郷土の歴史、伝統文化・芸能にふれあい、新たな文化を創造するまちづくり 2.55	交流の輪を広げ平和を希求するまちづくり 2.53	小さな「わ」が大きな「Wa」に広がる協働によるまちづくり 2.57	交流の輪を広げ平和を希求するまちづくり 2.65
6位	すべての人が健康で生き生きと暮らせるまちづくり 2.50	人権が尊重され、誰もが心豊かに安心して暮らせるまちづくり 2.52	人権が尊重され、誰もが心豊かに安心して暮らせるまちづくり 2.55	小さな「わ」が大きな「Wa」に広がる協働によるまちづくり 2.65
7位	省エネを実践し、資源が循環するまちづくり 2.49	ビジネス・リゾートと歴史・文化が融合する観光まちづくり 2.50	ビジネス・リゾートと歴史・文化が融合する観光まちづくり 2.48	すべての人が健康で生き生きと暮らせるまちづくり 2.59
8位	小さな「わ」が大きな「Wa」に広がる協働によるまちづくり 2.46	すべての人が健康で生き生きと暮らせるまちづくり 2.48	すべての人が健康で生き生きと暮らせるまちづくり 2.46	ビジネス・リゾートと歴史・文化が融合する観光まちづくり 2.57
9位	ビジネス・リゾートと歴史・文化が融合する観光まちづくり 2.45	地域の力が重なる安全安心のまちづくり 2.47	地域の力が重なる安全安心のまちづくり 2.45	地域の力が重なる安全安心のまちづくり 2.55
10位	地域の力が重なる安全安心のまちづくり 2.41	生涯学習を推進し、地域の教育力を向上させるまちづくり 2.42	省エネを実践し、資源が循環するまちづくり 2.41	生涯学習を推進し、地域の教育力を向上させるまちづくり 2.55

重要度ランキングの経年変化

前回調査と比較すると、「地域で暮らし地域で支えるまちづくり」と「衛生的で快適に暮らし、健康危機にも強いまちづくり」の順位が上昇しています。

今回

	第23回(平成30年)	第24回(令和3年)	第25回(令和5年)	第26回(令和7年)
1位	子育てが楽しくなるまちづくり 3.39	身近な地域で良質かつ適切な医療が受けられるまちづくり 3.41	身近な地域で良質かつ適切な医療が受けられるまちづくり 3.34	身近な地域で良質かつ適切な医療が受けられるまちづくり 3.19
2位	身近な地域で良質かつ適切な医療が受けられるまちづくり 3.38	子育てが楽しくなるまちづくり 3.35	子育てが楽しくなるまちづくり 3.31	地域で暮らし地域で支えるまちづくり 3.15
3位	地域で暮らし地域で支えるまちづくり 3.33	衛生的で快適に暮らし、健康危機にも強いまちづくり 3.34	自らの力で未来を拓く子ども達を応援するまちづくり 3.30	衛生的で快適に暮らし、健康危機にも強いまちづくり 3.13
4位	自らの力で未来を拓く子ども達を応援するまちづくり 3.31	自らの力で未来を拓く子ども達を応援するまちづくり 3.32	地域で暮らし地域で支えるまちづくり 3.28	子育てが楽しくなるまちづくり 3.13
5位	衛生的で快適に暮らし、健康危機にも強いまちづくり 3.30	地域で暮らし地域で支えるまちづくり 3.31	衛生的で快適に暮らし、健康危機にも強いまちづくり 3.25	自らの力で未来を拓く子ども達を応援するまちづくり 3.12
6位	地域の力が重なる安全安心のまちづくり 3.27	災害に強い都市基盤の整備で安全安心のまちづくり 3.28	効率的で効果的な行財政運営を行う 3.24	災害に強い都市基盤の整備で安全安心のまちづくり 3.08
7位	暮らしてよし歩いて楽しい快適なまちづくり 3.24	地域の力が重なる安全安心のまちづくり 3.24	災害に強い都市基盤の整備で安全安心のまちづくり 3.24	すべての人が健康で生き生きと暮らせるまちづくり 3.08
8位	すべての人が健康で生き生きと暮らせるまちづくり 3.24	すべての人が健康で生き生きと暮らせるまちづくり 3.22	地域の力が重なる安全安心のまちづくり 3.22	効率的で効果的な行財政運営を行う 3.08
9位	災害に強い都市基盤の整備で安全安心のまちづくり 3.24	産業を支える市民とその労働環境を整えるまちづくり 3.21	暮らしてよし歩いて楽しい快適なまちづくり 3.22	暮らしてよし歩いて楽しい快適なまちづくり 3.06
10位	効率的で効果的な行財政運営を行う 3.21	暮らしてよし歩いて楽しい快適なまちづくり 3.21	人権が尊重され、誰もが心豊かに安心して暮らせるまちづくり 3.31	地域の力が重なる安全安心のまちづくり 3.04